

2016
台北映画祭 台北映画賞
最優秀ドキュメンタリー賞
ノミネート

2016
イタリア・ヴェローナ
国際映画祭
入選

2016
ハワイ国際映画祭
入選

2016
韓国DMZ
国際ドキュメンタリー映画祭
アジアコンペティション部門
ノミネート

2017
大阪アジア映画祭
特別招待作品部門
入選

2016
サンディエゴ
アジア映画祭
入選

2016
ニュージーランド
オークランド国際映画祭
入選

石垣島から、台湾への帰郷

人生最後の里帰りの旅

80年を超えて探し求めるアイデンティティ



コウ
黄インイク 作品

A Documentary Film by
Huang Yin-Yu

海の彼方

After
Spring,
the Tamaki
Family...

監督・プロデューサー：黄インイク | 共同プロデューサー：山上徹二郎、劉蔚然 | ナレーション：玉木慎吾 | 撮影：中谷駿吾 | 音楽：中嶋海都 | 編集：黄インイク | サウンドミキシング：杜篤之、杜亦晴
製作：木林映画 | 共同製作：シグロ、Atom Cinema | 提供：木林映画、シグロ | 配給・宣伝：太秦 | 協賛・後援：大映、台湾新聞社
台湾・日本 | 2016年 | 日本語・台湾語 | カラー | 123分 | 16:9 | 5.1ch | DCP | ドキュメンタリー | 原題：海的彼端


石垣島のうっとりするほど甘いパイナップルと果てしなく広がる青空の下、まあーまあーと啼く水牛。それを広めたのが石垣島に渡った移民たちだという事を初めて知りました。遙か遠い祖先がつけた軌跡を辿ることでもっと近くに島を感じることができました。嗚呼、だから私の足は気づくと南に向いているのだ。


一青窈 (歌手)



1930年代 石垣島へ渡った台湾移民 台湾人とも日本人とも認められず時代に翻弄された ある一家の3世代にわたる人生と記憶の軌跡

沖縄石垣島の台湾移民の歴史は、1930年代、日本統治時代の台湾から約60世帯の農家が移り住んだことに始まる。その中に、玉木家の人々もいた。台湾から最も近い「本土」だった八重山諸島（石垣島を含む10の島々）で、88歳になる玉木玉代おばあは、100人を超す大家族に囲まれていた。そして米寿を迎えたおばあは娘や孫たちに連れられて長年の願いだった台湾への里帰りを果たす。しかし、70年の年月がもたらした時代の変化は予想以上に大きく…。ある台湾移民一家の3世代にわたる人生に光を当てることで、複雑な経緯を歩んできた東アジアの歴史を越え、記憶の軌跡と共に人生最後の旅を辿る。歴史に翻弄されながらも生き抜いてきた玉木家の「家族愛」にも迫り、観る者に忘れていたものを思い出させてくれる。

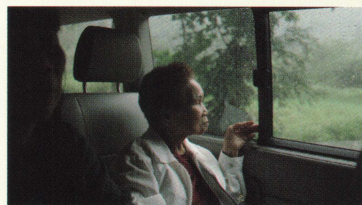
 fb.com/uminokanatafilm/

 @uminokanatafilm



八重山諸島とは…

北緯24度に位置する日本最南西端の島々を八重山諸島という。石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、波照間島、新城島(バナリ)、西表島、由布島、そして与那国島。台湾と石垣島の距離は280kmほど。400km離れる沖縄本島よりも近い。



8/12(土)“南国の風吹く”ロードショー!

特別鑑賞券1,300円(税込)絶賛発売中! 当日一般 1,700円の処

▶劇場窓口にて特別鑑賞券をご購入の方に、「海の彼方」オリジナルポストカード、台湾の伝統的エコバッグ、ビーチサンダルのいずれかひとつをプレゼント! ※なくなり次第、終了いたします。



JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

ポレポレ東中野
03(3371)0088
www.mmjp.or.jp/pole2/

地上映時間 8/12~8/25 14:20/18:50 8/26~9/1 16:20	山手通り ↓ 地下鉄 大江戸線 A1出口 ↓ JR東中野	地上映時間 8/12~8/25 14:20/18:50 8/26~9/1 16:20
	山手通り ↓ 地下鉄 大江戸線 A1出口 ↓ JR東中野	地上映時間 8/12~8/25 14:20/18:50 8/26~9/1 16:20
	山手通り ↓ 地下鉄 大江戸線 A1出口 ↓ JR東中野	地上映時間 8/12~8/25 14:20/18:50 8/26~9/1 16:20
	山手通り ↓ 地下鉄 大江戸線 A1出口 ↓ JR東中野	地上映時間 8/12~8/25 14:20/18:50 8/26~9/1 16:20

▶▶▶監督次回作のクラウドファンディング支援者求む!!
黄インク監督が次回作、西表島の炭鉱を舞台とした映画「緑の牢獄」を制作中!
詳しい情報は、「狂山之海」三部作公式ホームページにて www.yaeyamatrilogy.com